

## 平成29年度北海道男女平等参画チャレンジ賞贈呈式

### 懇談内容

日時：平成30年1月23日（火）13時00分～13時25分

場所：北海道庁本庁舎3階 知事会議室

#### 辻川恵美さん

私のような一主婦が、このような活動をしていくには、信頼関係がとても大事だと思っていて、このような賞をいただけることが、一緒に働いてくれるスタッフたちの信頼を得ることに繋がりますので、大変ありがたいことだと思っています。

私は子育てをしながら、自宅の空きスペースを使って、小さな子ども食堂をオープンさせましたが、子育て中の主婦でも何かできることがある、人の役にたてることがあるというモデルケースを発信したいと思っています。子ども食堂は、今、あちこちでできていますが、その周りに居る子どもたちにしか利用できないという現状があります。私は、一学区に一つあるのが理想的かなと思っています。子どもは、徒歩か自転車くらいしか移動手段がないので、たくさんできることを願ってやっています。

インターネットなどで、自分の活動を発信することで、このような活動だったら自分もできるのではないかと、誰かがまた、新たな地域で思っていていただいて、そこで新たな食堂がまたできるというのを理想としてやっています。

#### 津軽海峡マグロ女子会

##### 北海道側取りまとめ 杉本夏子さん

津軽海峡マグロ女子会には津軽海峡を挟んだ18市町村、80名、20代から60代までの女性が、各地でそれぞれ参加しています。

危機感の中から生まれた活動ですが、自分たちの町を、もっと輝かせたいとか、隣の町と結びつくことによって、大きな束になって、動きが生まれるのではないかとということで、活動を続け4年目を迎えました。

北海道新幹線という大きなハードの部分で、きっかけ作りをしていただき、嬉しかったというのがありますが、人が繋がって、本当の道ができるように、引き続き頑張りたいので、よろしくお願いいたします。

##### 青森側メンバー 三津谷あゆみさん

青森側と道南側と一緒に手を組むことで、私達の地域がさらに強く内外に発信ができるのではないかとと思っています。これからも、私達の速度で、私達なりのやりかたで、チャレンジを進めていきたいと、改めて今日、思いました。

#### 高橋知事

新幹線が2010年に青森まで来まして、そこから、一昨年に新函館北斗まで開通したのですが、青森側の方々は、終着駅効果というのがあるのだとおっしゃっていました。

本音で言えば、津軽海峡を新幹線が越えて行くのは、1日でも遅い方が良いというのは、水面下では時々お伺いをしていたのは事実ですが、今、このように繋がることによって、青森が通過駅というよりも、例えば、インバウンドで函館に入ってくる海外の方々が、周遊ルートを含めて青森・東北に行くという、新幹線で結ばれることによって、思った以上に東北・北東北と道南が繋がって、プラスの効果が出てきたということを実感していただいているのではないかと考えています。

そのような津軽海峡の協力の成果を、女子の力で、さらに高めていただければと思います。

### 杉本夏子さん

とても嬉しい言葉です。札幌への延伸までの時間で、魅力的な札幌と、ライバルであったり、同じ束になって、北海道を盛り上げられるように、私達も今から頑張っていきますので、そのとき、また一緒にできたらなと思っています。

### 高橋知事

辻川さんは、子育て支援という全く違う切り口ですけれども、苫小牧という工業都市で、人口が微増であるが増えてきていて、道内の子どもが減り、小学校の廃校が問題の中、新しい小学校をつくって欲しいと、市から要望が出ています。

だからこそ、多様な課題のあるお子さんも増えていると思いますので、辻川さんのご活動が、もっと苫小牧市内あるいは全道に広まり、先ほど各ブロックに食堂があると良いとおっしゃったようなになればいいなと思っています。

我々もサポートすることにしています。

### 辻川恵美さん

大変ありがたいです。子ども食堂のネットワークというのがあって、中には自分たちが今まで作り上げたものに、行政が入り込んで欲しくないという方たちもおりますが、できることが限られている中で、それぞれの持ち場で手をさしのべていただけたということが、非常にありがたいので、子ども食堂だけで固まらず多くの方と手をつないでいきたいと思っています。

### 小玉部長

子ども食堂は、何人くらい利用があるのですか。

### 辻川恵美さん

利用者はまちまちですが、学校でチラシを配っている関係上、学校がお休みになると利用が落ちてしまいます。一番少なくても40人くらい、多いと150人くらい来ます。

### 高橋知事

大変でしょう。

**辻川恵美さん**

それがとても楽しくて、それまでの準備期間は大人だけでギスギスすることもあるのですが、子どもが来ると、みんな癒やされて、また頑張ろうという気持ちになります。

**小玉部長**

野菜が高くなって大変ですね。

**辻川恵美さん**

野菜は本当に高いです。でも、夏は、農家の皆さんから買ったり、届けていただいたりするので、本来は私達が援助を受ける側のフードバンクに、こちらから差し上げるくらいの量が集まります。主婦の方は皆さん料理上手なので、トマトであれば煮詰めて冷凍したりして、冬の間に使っています。

**高橋知事**

農家さんが、市場に出せないものを有効に使ってと持ってきてくださるということですか。

**辻川恵美さん**

そうです。あとは家庭菜園でたくさんとれたものなどで、十分やっていけています。

**高橋知事**

以前マグ女の皆様の活動を伺って、なるほどと思ったのは、色々意見も言って、口を出すなら手も出せという姿勢であるところ。それはとても素晴らしい。

**杉本夏子さん**

ありがとうございます。誰がやるのかといったときに、私がやると手を上げる仲間で良かったなと思っています。

**高橋知事**

これからも頑張ってください。本日はありがとうございました。